

ようこそカタクリの里へ



ヨーロッパでは、「スプリング・エフェラル “春のはかない命”」などと呼ばれるカタクリの花は、種から育てて花を咲かせるまでに約8年かかるといわれています。

落葉樹の下で生活するカタクリは、2月頃芽を出し3～4月のわずかな日光を浴びて光合成をします。そして咲かせた花は、日照条件と気温が整ったわずか数週間、私たちに可憐で美しい姿を見せてくれます。そして落葉樹が葉をのびし、まわりの草木が緑になる5月頃には枯れて、地上から姿を消してしまうのです。



落葉広葉樹の雑木林が減少傾向にある現代は、カタクリの生息にも影響を及ぼしかねません。

道内でも有数の規模を誇る、この丸山公園のカタクリの群生地を、わたしたちも静かに見守っていきたくて願っています。



カタクリの里 丸山公園までのご案内

